

## 第1章

# 「親の学習」 埼玉県家庭学習支援 プログラム集



A-1

## どうして「勉強」するのかな？

小学校に入学すると、教科としての学習が始まります。子供がなかなか学習に向かう気持ちになれず、「どうして勉強しなきゃいけないの？」と質問されて、答えに困ってしまったことはありませんか？

なぜ、学ぶことが必要なのでしょうか？皆さんで考えてみましょう。

### エピソード1

母：「リョウタ、ゲームばかりしないで、勉強しなさい！」

子：「宿題ならやったよ。」

母：「宿題だけじゃなくて、計算ドリルとか、漢字の書き取りとか、他の勉強もしなさい。」

子：「何でそんなに勉強、勉強って言うの？お母さんはテレビ見てるのに、何でぼくだけ勉強しなきゃいけないの？」

母：「…。」

### ワーク 1

① エピソードを読んで、あなたなら子供に何と答えますか。

② グループで話し合ってみましょう。



## エピソード2

ケイコさんは二人の小学生の子供を持つ、働くお母さんです。仕事から帰る途中、いつもインターネットのレシピサイトを検索して、夕飯のメニューを決めています。また、仕事のスキルアップのために、来年、資格試験を受けようと、通信教育のカatalogを取り寄せました。

## ワーク 2

- ① あなた自身が、今、夢中になったり、情報を集めたりしていることはありますか。または、これからやってみたいと思っていることはありますか。それは、子供にどんな影響を与えていると思いますか。

- ② グループで話し合ってみましょう。

ふりかえり ～本日の講座はいかがでしたか？～



☆知っていたこと.....

☆新しく知ったこと.....

☆今後の生活に生かせそうなことは何ですか？ 自由に書いてみましょう。

【手引き】

A-1

## どうして「勉強」するのかな？

小学校に入学すると、教科としての学習が始まります。子供がなかなか学習に向かう気持ちになれず、「どうして勉強しなきゃいけないの？」と質問されて、答えに困ってしまったことはありませんか？

なぜ、学ぶことが必要なのでしょうか？皆さんで考えてみましょう。

### エピソード1

5分間

母：「リョウタ、ゲームばかりしないで、勉強しなさい！」

子：「宿題ならやったよ。」

母：「宿題だけじゃなくて、計算ドリルとか、漢字の書き取りとか、他の勉強もしなさい。」

子：「何でそんなに勉強、勉強って言うの？お母さんはテレビ見てるのに、何でぼくだけ勉強しなきゃいけないの？」

母：「…。」

### ワーク 1

① エピソードを読んで、あなたなら子供に何と答えますか。

5分間

#### 【ポイント】

子供が自分の力で将来を切り拓くことができるように。

教養を深めることは、人生を豊かにする選択肢を増やすことにつながります。

② グループで話し合ってみましょう。

10分間

#### 【ポイント】

「勉強より、もっと大切なことがある。」と考える保護者もいます。

学力は、子供の「生きる力」を育むことにつながることを伝えましょう。

人それぞれに多様な考え方があることを理解し、認めた上で、自分の考えが述べられるように配慮します。



エピソード2

5分間

ケイコさんは二人の小学生の子供を持つ、働くお母さんです。仕事から帰る途中、いつもインターネットのレシピサイトを検索して、夕飯のメニューを決めています。また、仕事のスキルアップのために、来年、資格試験を受けようと、通信教育のカタログを取り寄せました。

ワーク 2

- ① あなた自身が、今、夢中になったり、情報を集めたりしていることはありますか。または、これからやってみたいと思っていることはありますか。それは、子供にどんな影響を与えていると思いますか。

5分間

- 【例】・趣味の旅行から、歴史に興味を持つようになった。子供も歴史好きになった。  
・駅弁ファンだったので、地理に詳しくなった。子供も地図に興味を持っている。  
・読書が趣味。親が読書中は、子供も静かに勉強するようになった。  
・野球が好きなので、子供に野球のルールを教えたいと思っている。

- ② グループで話し合ってみましょう。

10分間

【ポイント】

「学ぶ」ことだけでなく、趣味や習い事、スポーツも含めて、「親が何かに打ち込んでいる姿勢」は、学ぶ姿勢を身に付ける意味からも、子供に良い影響をもたらします。

ふりかえり ～本日の講座はいかがでしたか？～

5分間



☆知っていたこと.....

☆新しく知ったこと.....

☆今後の生活に生かせそうなことは何ですか？ 自由に書いてみましょう。

【まとめ】

日頃から、子供が将来何になりたいのか、どのようなことをしたいのか、をよく理解しておくことが大切です。そのために、何をどのようにして学ぶのかを親子で考えられるといいですね。